

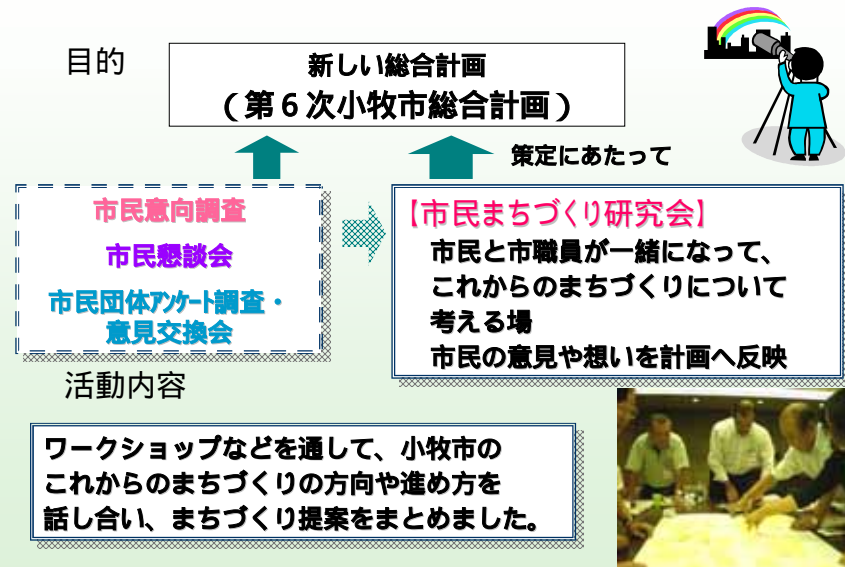
新しい総合計画策定のための

# 市民まちづくり研究会

## ～提案発表会～

平成20年1月31日

## 市民まちづくり研究会の概要と経過



## 市民まちづくり研究会 提案発表会

本日の予定

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 市民まちづくり研究会の概要と経過の報告
4. 提案書の提出
5. 提案発表  
A: 人を大切にすまちづくり  
B: 自慢できるわがまち小牧  
C: 地域力の活性化で安全・安心と環境を守るまちづくり  
D: 文化・芸術の薫るまちづくり  
“市民まちづくり研究会の提案”の実現に向けて
6. 総括
7. 閉 会

## 市民まちづくり研究会経過・・・

第1回 小牧のまちづくりへの期待

第2回 小牧市の良いところと悪いところ

第3回 課題解決のために取り組むべきアイデア

第4～6回 テーマ別プロジェクトの提案

第7回 実現化方策の提案

第8回 まちづくり提案書の作成

発表会 提案書の発表、提出



# 市民まちづくり研究会では・・・

まちづくりのテーマごとに4つのグループに分かれて話し合い、9つのまちづくり提案をまとめました。

- A 人を大切にするまちづくり**  
障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト  
次世代のこころ育てプロジェクト
- B 自慢できるわがまち小牧**  
中心市街地活性化プロジェクト  
交通問題改善プロジェクト
- C 地域力の活性化で安全・安心と環境を守るまちづくり**  
だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト  
地域の立て直しプロジェクト  
環境を守る美しいまちづくりプロジェクト
- D 文化・芸術の薫るまちづくり**  
それぞれの文化 さまざまな芸術を楽しむまちづくりプロジェクト  
「小牧は一つ 地球家族」と皆が思うまちづくりプロジェクト

# Aグループ 人を大切にするまちづくり

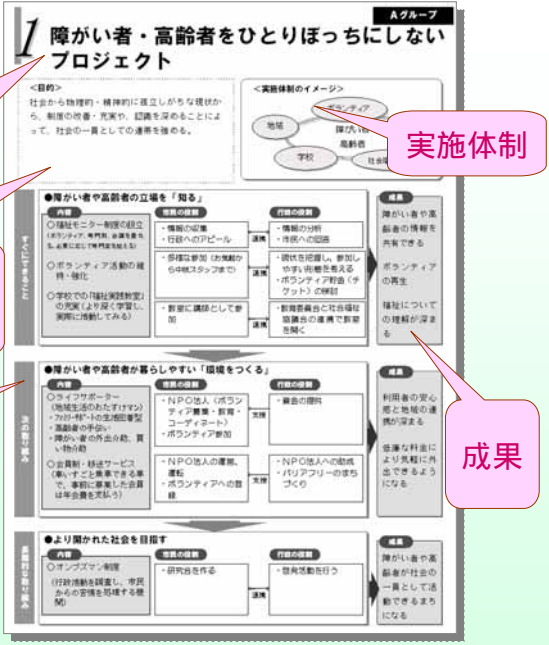


上田幸恵、大田垣隆、尾関三也、勝川正治、末松雅彦、鈴木敏夫、田中初美、野々川英子、橋本真弓、勝山貴之、川尻卓哉

日のあたらぬ場所に光をあてる。  
 声を出しにくい人に耳を近づける。  
 住んでいてよかった、まちにしたい。  
 生きていてよかった、時代にしたい。  
 思いのたけを、はっきり伝えたい。  
 - 大切なあなた、大切な私

## 提案書の構成

- 市民・行政が目指す方向を共有できるプロジェクト名を設定
- 「何のために」実施するプロジェクトであるか目的を明確化
- 「何を、どのように」進めていくとよいか、段階的な進め方等を含めて、取り組み内容を提案



## 小牧市の福祉、教育をみると・・・

**【良いところ】**

- 第3子から出産奨励手当が出る
- ジュニアセミナーや児童クラブがある
- 地域3あい事業が活発である

**【悪いところ】**

- 障がい者（児）に対応できるボランティアが少ない
- 福祉についての情報が少ない
- いじめや不登校への対応が不十分
- 学校でルールに甘く、親のモラルが低下
- 地域3あい事業の事業内容・進め方の地域差が大きく、未実施地域が多い
- 次世代育成に一貫性・継続性がなく、「地域ぐるみ」になっていない

**【課題】**

- ・ 障がい者、高齢者への理解
- ・ 地域の支え合い（3あい事業等）
- ・ 教育の一貫性 など

# 1 障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト

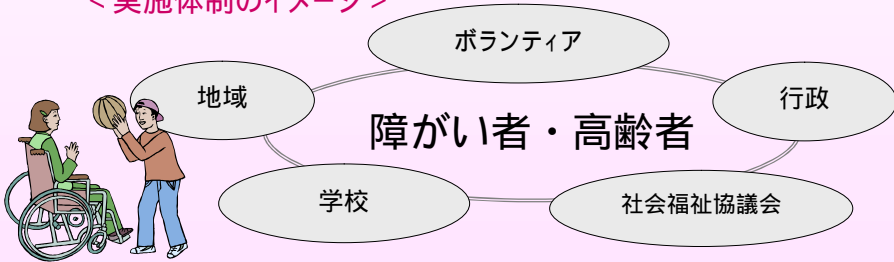
## <目的>

社会から物理的・精神的に孤立しがちな現状から、制度の改善・充実や、認識を深めることによって、社会の一員としての連帯を強める。

## <取り組みの展開方向>

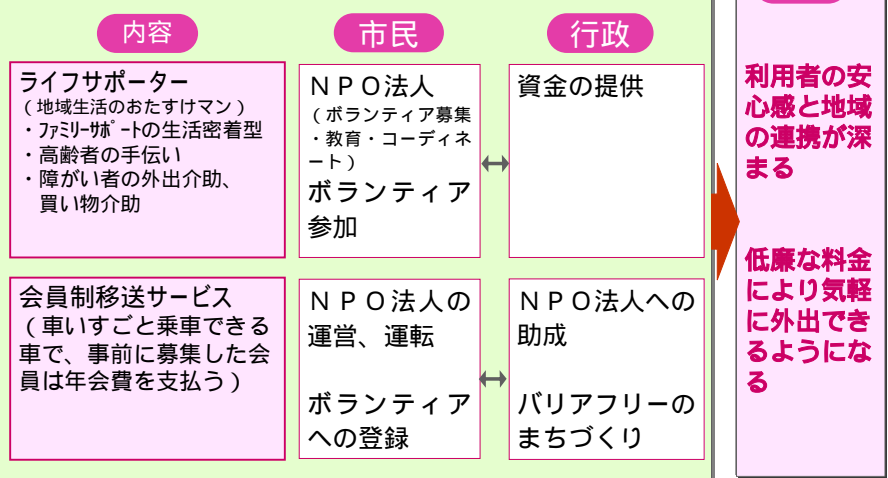
障がい者や高齢者の立場を「知る」  
障がい者や高齢者が暮らしやすい「環境をつくる」  
より開かれた社会を目指す

## <実施体制のイメージ>



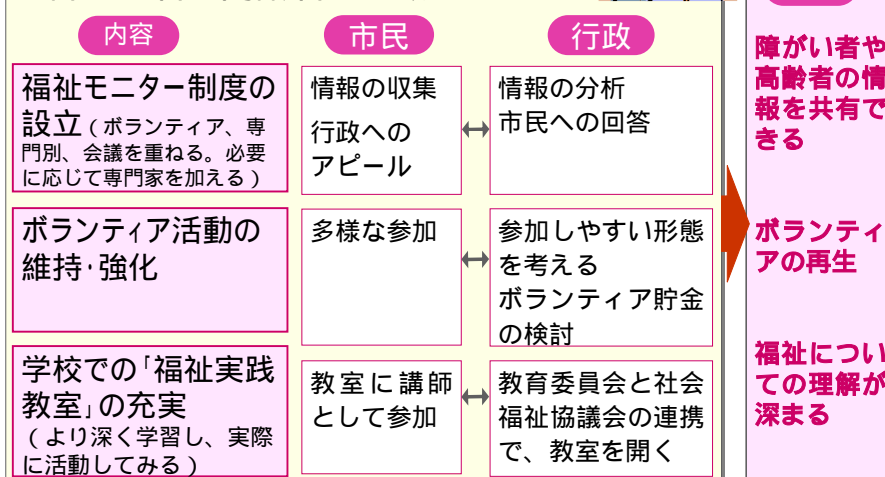
# 1 障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト

## 障がい者や高齢者が暮らしやすい「環境をつくる」



# 1 障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト

## 障がい者や高齢者の立場を「知る」



# 1 障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト

## より開かれた社会を目指す



## 2 次世代のこころ育てプロジェクト

### <目的>

まちづくりの基は人づくり、人づくりの基は次世代のこころ育て。

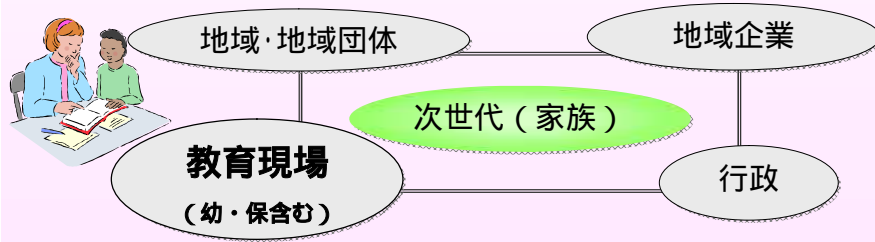
発展し続ける小牧の将来にとって、次世代の育成は、まちづくりの土台をなすもの。

### <次世代のこころ育て>

豊かな心  
人へのやさしさ・規範意識

生活習慣

### <実施体制のイメージ>



## 2 次世代のこころ育てプロジェクト

### 地域と教育現場との連携を強化する

内容	市民	行政	成果
地域3あい事業の拡充	教育現場と緊密な連携 次世代のこころ育てに重きを置いたプログラムの推進	指導者の育成 全市への拡充 財政支援の強化	<b>成果</b> 次世代のふれあいの場づくり 社会教育の充実 次世代育成に係る重要な問題の一貫性・均質性・継続性の確保 学校間格差、地域格差の是正 縦割行政の補充 家庭教育力の向上 地域力の再生 子ども自らの自励心・規範意識の向上
教育モニター制度	次世代育成に係る教育現場・地域の実情把握と報告	次世代育成モニターの設置 全市的教育施策への反映	
小牧版「子ども憲章」の制定	全市的な育成指針の共有 いつでも、どこでも、だれもが実践	憲章制定の主導 地域リーダーの育成と実践指導	

## 2 次世代のこころ育てプロジェクト

### 連携・協働の地域課題

- 地域住民・・・都市化が進み、地域のことに無関心
- 自治会組織・・・地域ビジョンが描けない
- 地域団体・・・わがこと以外は無関心
- 学校・・・学校のことで精一杯
- 事業者・・・地域・学校のことをわからない

### 「次世代は地域の宝」

次世代のこころ育てを通じて地域が繋がる  
連携・協働の仕組みづくり・指針づくり

## 2 次世代のこころ育てプロジェクト

### 地域ぐるみの次世代育成

内容	市民・教育現場	行政	成果
次世代育成コミュニティ協議会の設置	地域を形成する地域組織・地域団体・地域企業と教育現場による次世代のこころ育て  全ての教育現場に地域コーディネーターの配置	指導・助言 財政支援	<b>成果</b> 地域課題の共有化 地域力の再生 地域ぐるみの次世代育成の実現 住みたいまち「小牧」の実現

# 自慢できるわがまち小牧



井戸田鎬男、大野英隆、落合弘、  
斉田一郎、長谷川泰洋、松田敏弘、  
鵜飼達市、小川尋典

裕福な都市として知名度は広まったものの、将来を担う我々の次世代が安心して暮らせるような「街づくり」は、残念ながら出来ていない。何故ならば、小牧駅を中心とした市街地に賑わいを感じないからです。

賑わいは街の活気のバロメーターです。

街に魅力がないのか、それとも魅力はあっても気付かないだけなのか。

それらの観点から掘り下げた結果、「市街地の活性化は、交通基盤の整備から」という定説に基づき次なる提案をするものです。

## 小牧市の中心市街地、交通、道路をみると・・・

### 【良いところ】

- 産業基盤が強い
- 市の財政が豊か
- 幹線道路の整備
- 地下鉄と直結
- 歴史がある
- 古い町並み
- 農協での地産地消

### 【悪いところ】

- 中心市街地に人が集まる施設・活用する施設がない
- 中心市街地に店舗が少なくなっている
- 素敵なコンサートホールがない
- 文化施設がなく、催し物を通じた交流の場が少ない
- 好みのサークル・同好会・道場など、情報伝達が不十分
- 市街地への交通の便が悪い（バスが不便）
- 生活道路・歩道が狭い、道路が渋滞する
- 自動車中心で歩行者、自転車用の道路が少ない
- 東西の公共交通機関がない

### 【課題】

- ・魅力ある施設の建設
- ・駅の西地区（小牧商店街）の復興
- ・歴史や街並みを活かした街づくり
- ・コミュニティ道路、歩車道の分離、生活道路の整備・新設
- ・交差点の改良、交通安全装置（信号機・右左折路線）
- ・バスの運行経路の見直し、増設
- ・将来ビジョンとして東西鉄道路線の新設



# 3 中心市街地活性化プロジェクト

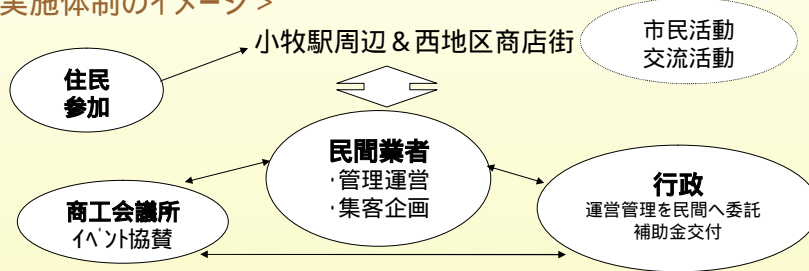
## <目的> 賑わいの創出

- 民間運営の文化施設の建設、魅力ある施設・店舗の併設
- 西地区商店街と一体化した、各種イベントの企画
- 並行的施策として市民の足となる公共交通の至便化

## <取り組みの展開方向>

- 構想・イベント・街並み整備
- 歴史を活かした街並み整備
- 人の集まる公的施設の整備・運営

## <実施体制のイメージ>



# 3 中心市街地活性化プロジェクト

## 歴史を活かした街並み整備

内容	市民	行政	成果
・メインストリートの整備 (信長にちなんだ整備、一里塚の整備等により、散策の楽しい街に)	小牧山の歴史の掘り起こし、郷土史家との連携 歴史講座への参加	「信長サミット」の開催、史実を全国に告知 大学と連携で歴史講座の開設と運営	<b>成果</b> 郷土小牧への愛着・誇りの増加 市民、行政、大学、企業の協働体制の確立 市民のまちづくりへの意識向上 小牧市の産業と講座の連携による小牧の発展
・トランジットモール化の段階的導入	メインストリートのワークショップ方式による整備計画の策定	メインストリートを歴史の散歩道として整備 (歴史の案内板、一里塚の設置)	
・文化施設の設置及び魅力施設の検討	積極的な参加	夜間大学院・語学塾等の講座の設立	

トランジットモール：中心市街地のメインストリートなどで一般車両を制限し、道路を歩行者・自転車とバスや路面電車などの公共交通機関に開放することでまちの賑わいを創出しようとするもの。

# 3 中心市街地活性化プロジェクト

## 構想・イベント・街並み整備

内容	市民	行政	成果
・文化施設の設置構想	要望意見を言う 中心市街地の見直し	市民の要望を聞く 文化施設の委託	<b>成果</b> 小牧商店街の復興 文化的交流の活発化 歩いて楽しい市街地
・イベントの企画 (地産地消の市等)	青空市、イベントへの実施及び積極参加 農家・商店街・サークル等各種市民団体へ声掛け	イベント支援 既存商店街の復興支援	
・歴史を活かした街並み整備、一里塚の設置 (メインストリート)	一里塚の意義を認知 歴史への興味・関心	歴史の掘り起こし ポイントの設置	

# 3 中心市街地活性化プロジェクト

## 人の集まる公的施設の整備・運営

内容	市民	行政	成果
・(特定業務代行方式)による公共施設ビルの建設・設置 (図書館、文化芸術施設、夜間大学)	利活用の促進	広報、PR活動の援助	<b>成果</b> 民間組織による新しいシステムの図書館、市民会館、音楽ホール等の運営 昼夜を通しての中心市街地にぎわい創出 歩行者中心の市街地を実現
・魅力ある施設の建設 (飲食街、物販、風呂、交流の場)	積極的な利活用	民間団体・高齢者の積極的活用 業務時間の延長	
・メインストリート(小牧駅から小牧山)の整備、トランジットモール化	イベントの開催・参加 要望・意見の提示	運営委員会にて検討・実施	

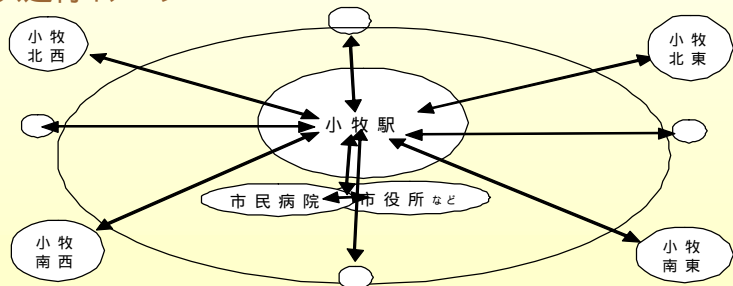
特定業務代行方式：施行者からの委託に基づき、民間事業者が市街地再開発事業の施行に関する業務の一部を代行する方式。処分先が未定の保留床リスクを特定業務代行者が追うことで事業成立の担保を補う仕組み。

# 4 交通問題改善プロジェクト

## < 目的 >

昔から、陸の孤島といわれていた。だから将来ビジョンとして東西鉄道がほしい。  
現状の巡回バスについても、迂回経路が多く中心地までの時間が掛かりすぎる。だから、役に立つと思う人が少ない。よって利用者が少ない。マイカーの方が便利であり依存度が高い。従って、バス路線を見直し、バスダイヤを増発する案を提案する。

## < バス運行イメージ >



## < 取り組みの展開方向 >

- 交通網の見直し
- 道路網の整備と、巡回バスの運営管理形態
- トランジットモール

# 4 交通問題改善プロジェクト



## 道路網の整備と巡回バスの運営管理形態

内容	市民	行政
バスの運行種類	・自動車をやめて積極的に利用する	・バス運行管理主体への補助金（委託）の交付
バス運行管理主体等選定	・定期的な利用状況のモニタリングに協力する ・その他理解と協力を惜しまない	・市内工場勤務者の公共交通通勤切替え調停 ・福祉事業の感覚で取組 ・バス利用奨励策の考案 ・バス利用者への買物等優待券の交付
道路網の更なる整備		・誕生日乗車は無料など ・暮らしの道ゾーン等、国交省の補助対象事業導入

## 成果

- 出掛ける機会が増えて健康的な生活ができる
- 楽しく散策でき街が賑わう
- マイカー通勤減少
- バス利用者が増え黒字

# 4 交通問題改善プロジェクト



## 交通網の見直し

内容	市民	行政
・バス路線の見直し ・矢印信号の設置等交差点の改良による渋滞解消 ・歩道・自転車道の見直し ・デマンドバスの採用・検討	地域の意見要望を言う マイカーを自粛、バス利用を心がける 渋滞路線のリストアップ 歩道・自転車道の見直し等要望提出 デマンドバス研究	市民の要望を聞く バス路線の見直し 市役所・病院のシャトルバス（ミゴン） 交差点の改良工事実施 歩道・自転車道の設置 デマンドバスPR

## 成果

バス利用の促進、夜間の飲食等へのアクセス改善により夜間にぎわいの創出が可能になり特に、飲食の営業に寄与できる

# 4 交通問題改善プロジェクト



## トランジットモール(歩行者・自転車優先の街づくり)

内容	市民	行政
トランジットモールでの「だれどこバス」の運行 市内の各地に「暮らしの道ゾーン」設置 将来ビジョンとして「東西鉄道路線」の新設 (JR春日井-小牧-江南-JR一宮)	・マイカーを止めて積極的にバスを利活用する ・遊覧バスにて、名所旧跡巡りを楽しむ ・地域選定等に理解と協力を惜しまない ・大ビジョンであり鉄道路線の必要性を理解する	当該商店街及び警察との調整 ゾーンの意義を広報等積極的にPRし浸透を図る 県及び関係市町への共同取組み

## 成果

- だれどこバスは市内外に反響が期待され街が賑わう
- 市内各地の名所の一つとなり、市内遊覧バスとの相乗効果で賑わう
- 社会人口の受入・流入など容易となり強い産業基盤の恒常的な維持が可能になる

デマンドバス：通常の運行ルートを守るバスとは違い、基本路線以外に利用客がいる場合、7 連絡を受けたらその場所へ迂回してくれる、弾力的な利用サービスを行うバスのこと。

ミゴン：「みんなでワゴン」という言葉を略したもので、乗合タクシーの名前。

## Cグループ 地域力の活性化で 安全・安心と環境を守るまちづくり



青山弘光、長田稔公、木戸人師、  
高井三郎、辻畑勲、鳥居由香里、  
西尾貞臣、丹羽富郎、安部美早恵、  
橋本典子、長谷川隆司

「地域力」とは、地域の問題を発見して、その問題を解決する力です。  
少子高齢化、犯罪など、地域を取り巻く問題について、みんなで考え、  
「自分たちの暮らしは、自分たちで守る」意識を持つことが大変重要。

地域での日常的なあいさつ、声かけ、地域リーダーの養成、  
区長を含めた地域のあり方の見直しなどを通して地域力を活性化し、  
自分たちの暮らす地域の「安全・安心」と「環境」を守るため、  
3つのプロジェクトを提案しました。

### 小牧市の安全・安心と環境をみると・・・

#### 【良いところ】

- 自主防犯組織が生まれてきた
- 防犯パトロール隊の活動
- 空き家が少ない
- 集会場が多くある、90ヶ所
- 近所づきあい、隣同士で助け合いがある
- 組織が確立されている区自治会  
125区、区自主防災会129団体
- ゴミの分別がすすんでいる
- 自然が多い（緑豊か）

#### 【悪いところ】

- 犯罪件数が多い
- 防災に対する意識が低い
- 学校周辺でも歩道が整備されていない
- 区の自治会活動に温度差がある
- 地域活動への参加者が少ない
- ポイ捨てが多い
- 公害が多い
- 地球温暖化対策が遅れている

#### 【課題】

- ・ 自主防災活動の啓発
- ・ 町内会活発化
- ・ 自然エネルギーの活用
- ・ 市民の防犯組織拡充
- ・ ゴミの分別の更なる充実
- ・ 自然の保全
- ・ 交通安全
- ・ 農業の活性化



# 5 だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト

## < 目的 >

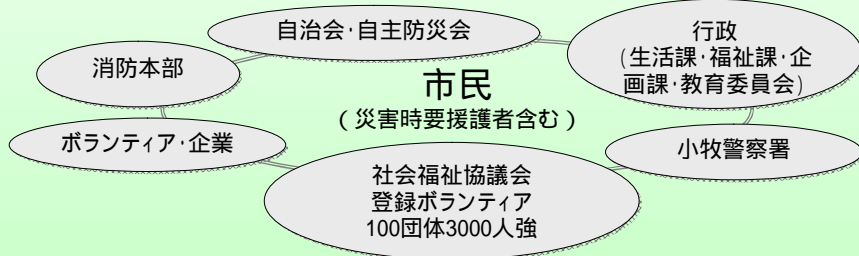
子どもから高齢者まで市民だれもが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、防災、防犯、地域福祉活動などを進め、明るい地域社会づくりに貢献することを目的とする。

## < 取り組みの展開方向 >

地域住民の“自助”意識を高める  
 地域の“共助”意識を高める  
 公助・継続・定着



## < 実施体制のイメージ >



# 5 だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト



## 地域の“共助”意識を高める - 日頃から地域で助け合う -

内容	市民	行政
災害に備えて組織で啓発活動を実施する	協議会に参画し諸行事に進んで参加	区、コミュニティに対し教育、指導、現状把握 広報活動
地域に根付いた地域ぐるみでの活動	災害弱者の実態把握 災害時要援護者支援制度の地域での展開 通学路の実態把握	集会施設の有効活用・提供 関連行政機関との調整
	子ども、高齢者を巻き込んだ研修会 区長講話の実施	活動資金のバックアップ 防災・防犯・交通安全教室の開催

**成果**  
 互助の協調性向上  
 一軒両隣付き合いが良くなり、安心感の波及効果大  
 安全・安心なまちとなり地域力がつく

# 5 だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト



## 地域住民の“自助”意識を高める - 自分ができることは自分です -

内容	市民	行政
・地震発生シミュレーション ・耐震性に不安のある建物の検証 ・家具の転倒防止対策 ・非常持出品の確保 ・災害伝言ダイヤル171の周知	マニュアル作成勉強会、講習会の実施 耐震診断、家具固定、施錠の励行(ワドアツロツク)火災報知器の設置 各家庭で万が一に備えて話し合い、連絡方法・避難場所の徹底	自治会の人材育成取組状況の把握 消防本部による市民各位の防災対策チェック 行政・災害ボランティアによる市民に対する防災講習会・会議を開く

**成果**  
 家庭内での対話が進み良好な相互信頼が高まる  
 家庭愛が深まり命の大切さを知り、協調性が向上する

# 5 だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト



## 公助・継続・定着

内容	市民	行政
地域の防災・防犯・交通安全は息の長い活動 実施事項を継続して定着させる 安心して歩くことができるまち	地域組織の強化、三世代での取組、継続的な活動、賢い市民 災害ボランティア・あいち防災リーグ会防犯ボランティアの活動支援の定着化 危険箇所のリストアップ(車いすでも通れる歩道)	防災・防犯・交通安全活動支援 制度化、仕組みづくり企業との連携近隣市町との連携 AEDの設置ライフラインの整備、充実

**成果**  
 だれもがまさしく安全・安心して暮らせるまちづくりとなる  
 まちなみの景観がよくなる波及効果

# 6 地域の立て直しプロジェクト

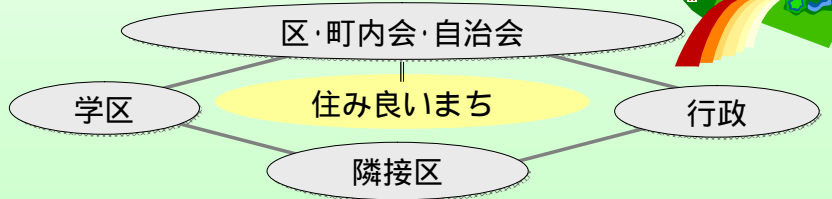
## <目的>

「住みよいまちは自分たちで創る」

## <取り組みの展開方向>

できるだけ多くの人に参加してもらう  
 継続して参加できる環境をつくる  
 いろいろな人に役割をもってもらう

## <実施体制のイメージ>



# 6 地域の立て直しプロジェクト

## 継続して参加できる環境をつくる

内容	市民	行政
若い住民・外国人・新住民の参加	活動の目的を明確に伝える 慣例にとらわれない	通訳ボランティアの派遣
必要経費の支出	会則、規定の確立	助成金の見直し
隣接区との横のつながり(学校単位)	情報交換の場を設ける	地域リーダーの育成・指導、場所の提供

**成果**  
 自主的に参加する人が増える

# 6 地域の立て直しプロジェクト

## できるだけ多くの人に参加してもらう

内容	市民	行政
・町内会・自治会への加入率の向上	町内会・自治会の必要性を認識する	地域の生活は地域で守ることの重要性を啓蒙
・日常の活動を開示する	活動の企画、報告回覧の実施	行政、町内会・自治会の活動範囲を市民に啓蒙
・役員の業務と責務を明確にする	住民へのアンケートの実施及び公開	原案等の指導、援助

**成果**  
 活動がわかってくる

# 6 地域の立て直しプロジェクト

## いろいろな人に役割をもってもらう

内容	市民	行政
元気な高齢者・退職者を活用する	常設専門委員会の設置	専門的知識の指導、研修会の開催
関連組織との連携	情報の共有、連絡網の整備	ネットワークの構築
自主自立の地域コミュニティの確立	協調のとれた明るい町内	住民参加の行政

**成果**  
 町内会・自治会が組織として確立する

# 7 環境を守る美しいまちづくりプロジェクト

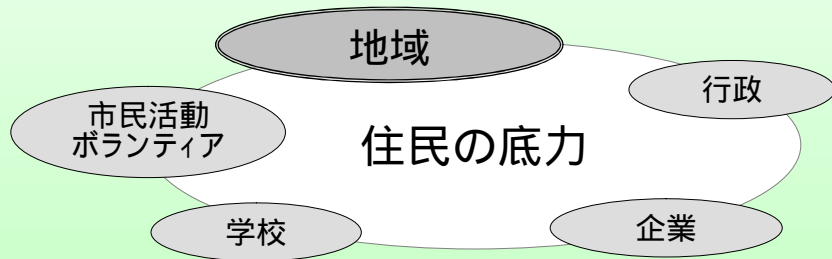
## <目的>

環境宣言にふさわしいまちづくり。  
気持ちよく生活ができ、誇れるまち。

## <取り組みの展開方向>

みんなで美化活動  
ゴミが資源になる  
持続可能な社会

## <実施体制のイメージ>



# 7 環境を守る美しいまちづくりプロジェクト

## ゴミが資源になる

内容	市民	行政	成果	
新エネルギーの活用と省エネ、省ゴミ、非電化製品の普及	新エネルギー等の活用	新エネルギー等のPRと補助	市の収入UPと税金減額化	
まちのグリーン化	地域清掃隊が清掃をかねて環境調査とPR (グリーンマップ)	PR (広報活動) 環境政策の作成		農地の有効利用
生ゴミの資源化促進	生ゴミをたい肥化して野菜づくり 市民の講師協力	休耕田の活用で市民農園 市民への野菜づくり指導		市民の食育

# 7 環境を守る美しいまちづくりプロジェクト

## みんなで美化活動

内容	市民	行政	成果
徹底したゴミの分別	正しい分別 ゴミ集積所の清掃	資源ゴミのPRと指導 イベントでPRコーナー	地域内の美化 地域内の交流 ゴミ分別知識の向上 子どもの育成
小学校、中学校「ゴミ教室」と地域指導 (外国人指導)	市民またはボランティア、市民活動団体が講師として協力	講師の派遣 講座の企画 国際交流協会で開催	
地域の清掃活動	地域の530運動 (年2回) 地域清掃隊 (楽しいグループ)	企業に協力要請 こまき530運動の日の設定 ポイ捨て運動のPR ゴミレンジャーズでPR	

# 7 環境を守る美しいまちづくりプロジェクト

## 持続可能な社会

内容	市民	行政	成果
ゴミのエネルギーシステムの構築	バイオエネルギーの活用	バイオエネルギーの活用 企業への協力要請	食材の自給力 自然豊かなまち 食の自給力 災害防止 地域交流 人づくり
自然の保全	里山手入れの手伝い 里山の工芸づくり 耕作者の募集	収穫祭 里山文化の育成 農業の法人化、企業参入 自然の保全地域の指定	
農業と里山の活性化			

# 文化・芸術の薫るまちづくり

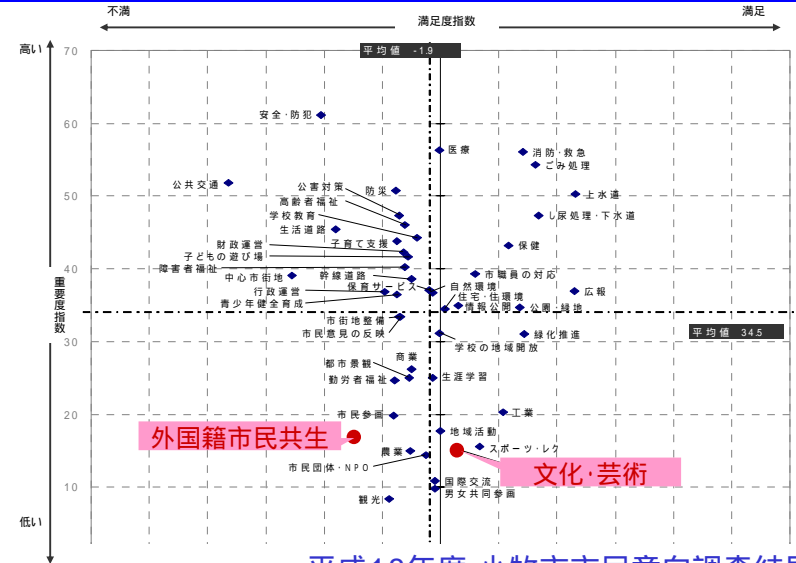


加藤鐘三、柴田緑、園山忠、玉井宰、  
西山武、林岸子、堀孝次、吉田勉、  
瀧頭郎、吉田隆

文化芸術の振興は、市民の創造性をはぐくみ、  
相互に理解尊重し合い、多様性を受け入れることのできる  
心豊かな社会の形成に貢献する。

「人と緑かがやく創造のまち」(第5次総)を将来の都市像とし、  
多文化共生社会の形成が今後の課題である小牧市にとって、  
文化芸術を振興し、「文化・芸術の薫るまちづくり」を推進す  
ることは極めて重要なテーマであると考えられる。

## 小牧市の教育・文化の状況



平成18年度 小牧市市民意向調査結果より

## まちづくりにおいて、文化芸術を振興することの意味合い

「文化芸術振興基本法」を国が制定(2001年12月)

この法律の理念(前文)

『…文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることのできる心豊かな社会を形成するものであり、…』

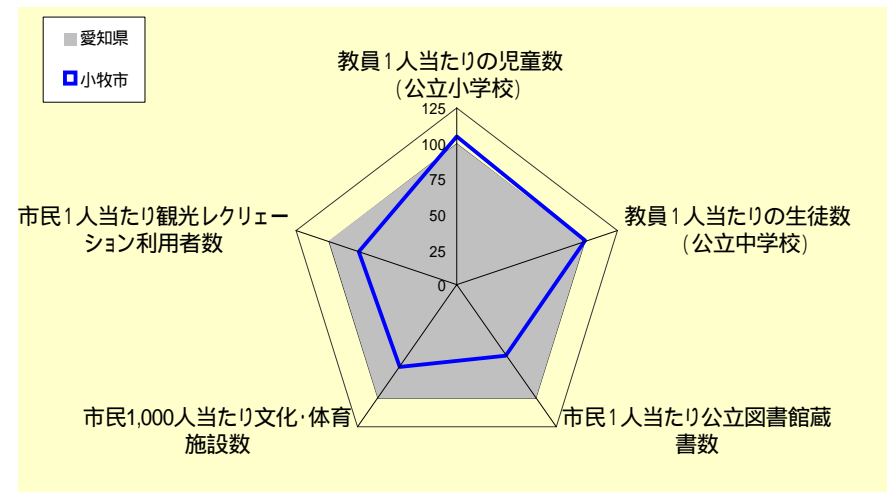
この法律の制定を受けて、全国の地方自治体では、「文化芸術振興条例」を制定し、文化芸術の振興に取り組んでいる

「小牧市文化振興ビジョン」を教育委員会が策定(2001年3月)

このビジョン策定の趣旨

『本ビジョンは、第5次小牧市総合計画に掲げる「人と緑 かがやく創造のまち」実現に向け、長期的な視野から、市民文化の創造や文化的な視点に立ったまちづくりを推進していくものです。』

## 小牧市の教育・文化の状況



平成19年度 市民懇談会資料より

## 「小牧の目指す都市像」と「文化芸術振興の必要性」

第3次総合計画	活力ある緑豊かな生きがいのある文化都市	1981年～
第4次総合計画	活力ある緑豊かな生きがいのある文化都市	1991年～
第5次総合計画	人と緑 かがやく創造のまち	2000年～

### 提案の背景・・・提案に対する熱い思い

「文化芸術の振興」は、まちづくりの種々のテーマと密接に関連するベースであり、まちづくりの中核と言っても過言ではない

「文化都市」「かがやく創造のまち」を目指してきた小牧市にとっては、特に「文化芸術の振興」が必要・不可欠なテーマである

「文化芸術の振興」は、小牧市にとって今後の重要な課題である「多文化共生社会の形成」に繋がるテーマであると判断できる

## 小牧市の文化・芸術、多文化共生をみると・・・

### 【良いところ】

- 市の将来像として、「文化都市」「人と緑 かがやく創造のまち」を目指してきた
- 数多くの文化・芸術に関する活動団体
- 生涯学習講座が充実
- 小牧山を代表とする史跡や歴史、豊かな自然
- 市内にメナード美術館や名古屋造形芸術大学・愛知文教大学がある
- 中部フィルハーモニー交響楽団を支援
- 文化・芸術活動を支援できる財政状況
- 国際交流に貢献する事業（K I A）

### 【悪いところ】

- 「文化振興ビジョン」の重要性が十分に理解・浸透していない
- 文化・芸術を振興する体制が不十分
- 文化・芸術に関する各種の活動が市民に広く浸透していない
- 史跡や歴史、自然が十分に活用や保全されていない
- 美術館・造形大学・交響楽団との協働によるまちづくりがまだ不十分
- 文化・芸術活動に必要な施設が不十分
- 多文化共生に関する市民の意識が低い
- 多文化共生社会の形成に関する方針や推進体制が不十分

### 【課題】

文化・芸術振興に関する方針の整備と推進体制の確立  
 小牧らしい文化・芸術活動の創生と推進  
 多文化共生に関する市民の啓蒙  
 文化・芸術事業の市民への浸透  
 文化芸術関連施設の整備  
 多文化共生方針策定と推進体制の確立

## 3 それぞれの文化 さまざまな芸術を楽しむまちづくりプロジェクト

### <目的>

人々の創造性をはぐくみ、相互に理解・尊重し合い、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成する。

### <取り組みの展開方向>

既存団体の活動を充実するとともに、小牧の文化芸術の状況を検証する

地域の特色ある文化資源の発見と創生が始まる

小牧らしさのある文化芸術活動、市民主体の活動が盛んになり、市外から注目される

### <実施体制のイメージ>



## 3 それぞれの文化 さまざまな芸術を楽しむまちづくりプロジェクト

既存団体の活動を充実するとともに、小牧の文化芸術の状況を検証する

内容	市民	行政
既存の文化芸術団体の活動を充実し、新規会員を増やす	文化芸術団体間の交流促進、新規会員の勧誘	文化芸術団体の広報、作品展・イベント開催時の支援
文化資源の活用・文化活動・関連団体との協働について検証する	文化資源の活用・関連団体との協働に関する提案	文化芸術振興状況に関する検討会議の企画、文化振興ビジョンの見直し
文化芸術施設を充実し、既存施設を利用し易くする	新規施設開設に関する提言、既存施設利用に関する改善提言	市民ギャラリーの開設、既存施設の利用方法の見直し

### 成果

既存の文化芸術団体の活動状況や課題が把握できる

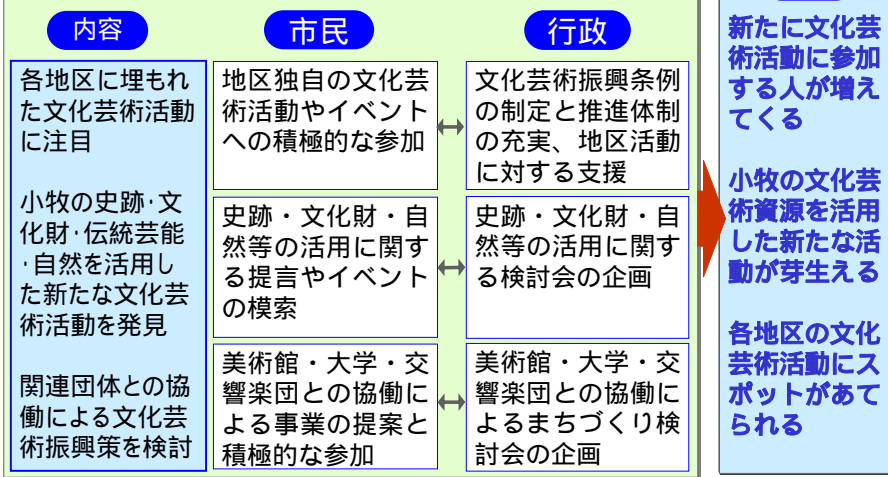
史跡・文化財活用法、関連団体との連携について課題が分かる

文化団体の活動が充実する

## 3 それぞれの文化 さまざまな芸術を楽しむ まちづくりプロジェクト



地域の特色ある文化資源の発見と創生が始まる



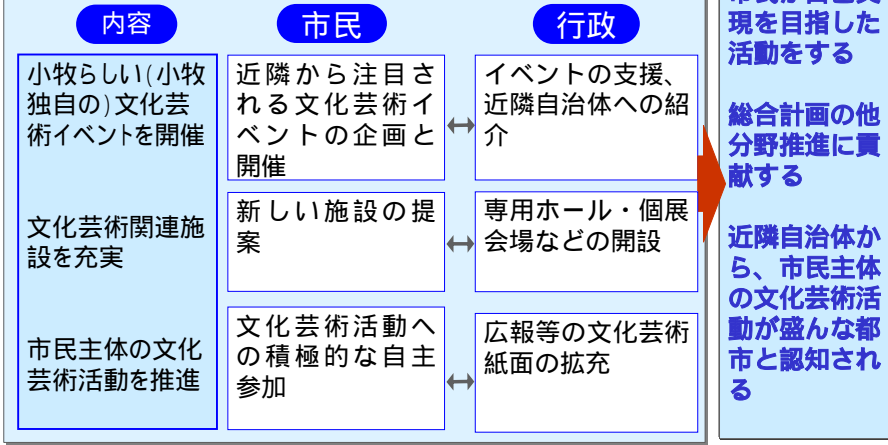
## 小牧独自のイベント例 (バンブーインスタレーションinおおくさ)



## 3 それぞれの文化 さまざまな芸術を楽しむ まちづくりプロジェクト



小牧らしさのある文化芸術活動、市民主体の活動が盛んになり、市外から注目される



# 9 「小牧は一つ 地球家族」と皆が思う まちづくりプロジェクト



## < 目的 >

日本人と外国人の垣根を取り除き共に生きるパートナー、地球家族として、お互いに支え合う関係を築くことを目指し、行政・市民・企業が一体となって活動する。

## < 実施体制のイメージ >



## < 取り組みの展開方向 >

みんなが、外国人が増えている理由や、多文化共生社会のことを知る

外国人と交流する機会が増え、多文化共生社会の形成に向けた取り組みが始まる

行政・市民・企業が一体となって、「地球家族宣言」を行う

多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

# 9 「小牧は一つ 地球家族」と皆が思う まちづくりプロジェクト



外国人と交流する機会が増え、多文化共生社会の形成に向けた取り組みが始まる

## 内容

多文化共生施策を整備する

地域リーダーが中心となり多文化共生へ向けた地域づくりを進める

外国人の生活支援(住居・教育・医療・防災など)を充実する

## 市民

課題の収集や解決策の提言

外国人に対する自治会活動への勧誘

外国人との交流を通じて、生活支援策の提案

## 行政

多文化共生推進の担当部門の強化、多文化共生会議の企画

地域リーダー会の企画、イベントの支援

生活支援策の整備と実行

## 成果

多文化共生に関する、課題や対策が明らかになってくる

各地域の多文化共生リーダーの活動が盛んになる

生活支援が充実する

# 9 「小牧は一つ 地球家族」と皆が思う まちづくりプロジェクト



みんなが、外国人が増えている理由や、多文化共生社会のことを知る

## 内容

外国人の多い地域の住民に多文化共生に関する意識啓発を行う

地域に住む外国人と接する機会を増やす

地域との関わりや、地域貢献を願う人達を支援

## 市民

セミナーや講演会への参加、居住外国人に関する支援策・課題の提言

地域活動や各種イベントへの積極的な勧誘、外国人への情報提供

既存の市民団体や地域のグループなどの活動紹介

## 行政

居住外国人・多文化共生に関するセミナーや講演会の企画

地域活動やイベントの支援、コミュニケーション支援の充実

地域デビューを支援する仕組み作り講演会の講師手配

## 成果

多文化共生社会のことを理解する市民が増える

コミュニケーション支援が充実する

各地域に多文化共生リーダーが芽生える

# 9 「小牧は一つ 地球家族」と皆が思う まちづくりプロジェクト



行政・市民・企業が一体となって、「地球家族宣言」を行う

## 内容

「小牧は一つ 地球家族宣言」をし外国人の地域社会への参画を促進する

外国人のネットワークを構築する

外国人の労働環境を改善する

## 市民

外国人と一体となった、自治会活動の推進

外国人ネットワークとの連携したイベント・交流会の開催

企業市民として労働環境改善に取り組む

## 行政

多文化共生推進条例の制定、地球家族宣言の浸透

外国人ネットワーク構築支援

外国人雇用企業との協議や指導

## 成果

多文化共生に対する、行政・市民・企業の役割や責任が明らかになる

外国人と個人的な交流する人が増える

外国人にとって、小牧が住みやすいまちになる

## 多文化共生をテーマにしたイベント候補例 (桃花台まつり)



## 市民と行政が「本気・根気・元気」の思いで 提案を実現するために！

「市民・市民団体」「企業・事業所」「行政・公共的団体」の三者の連携強化を！  
提案が総合計画に盛り込まれ、三者の協働により実現していくことを期待。

### 総合計画の浸透や実現に向けて・・・

私たちは、今回の提案を持って終りとする事なく、今後も市民として、市民団体として行政に深く関心を持ち、市民としての責任を果たしていきます。

最後に、第6次総合計画の具体的な実現に向けて、以下のことを提案します。

市民・企業・行政がそれぞれの立場で、各自の役割を果たす。  
総合計画の浸透や実現を目的とした、宣言や条例の制定を行う。  
市民・企業・行政の協働による研究会・委員会を定期的に行う。  
状況の変化に対応しながら、進行状況をチェックし、それを公表する。

## 市民と行政が「本気・根気・元気」の思いで 提案を実現するために！

「市民による市民のためのまちづくり！」を基本に・・・

私たち市民レベルで取り組まなければならないことは、自主的にできることから取り組み、提案を実現していきたいと思えます。

